



# TOSHIBA 東芝照明器具取扱説明書

- お客様へ お買い上げありがとうございます。  
正しくお使いいただくために、この説明書をよくお読みください。  
本書は必ず保管してください。
- 工事店様へ この説明書は必ずお客様へお渡しください。


## ■安全上のご注意

	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

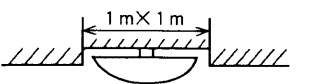
### 警告

- 次のような、場所には取り付けないでください。  
この器具は天井取付専用です。  
指定以外の場所には器具が取り付けられない場合や、取り付けられた場合でも火災・感電・落下してけがの原因となります。


取り付け部のまわりに凸凹や極端な突出部のある天井



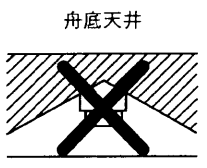
器具の取り付けには、配線器具を中心に約1m×1mの平面部が必要です。




棧のあるサオブチ天井



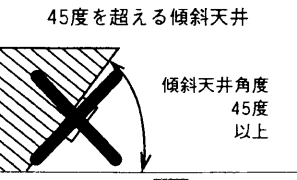
舟底天井



簡単にたわむ天井

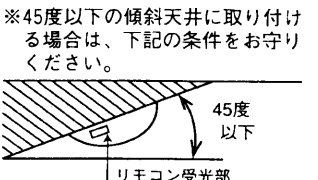


45度を超える傾斜天井




傾斜天井角度 45度以上

※45度以下の傾斜天井に取り付ける場合は、下記の条件をお守りください。



リモコン受光部

- 傾斜方向の下側にリモコン受光部側がくるように取り付けてください。
- 引掛シーリングに器具の荷重が加わらないように本体を木ねじで必ず固定してください。

 取付禁止


- 次のような、配線器具には取り付けないでください。

火災・感電・落下してけがの原因となります。  
次のような場合は配線器具の交換を電気工事店に依頼してください。(※素人工事は法律で禁じられています。)

- 破損しているもの
- グラグラしたり、取り付けが不十分なもの
- 電源端子露出タイプ 23mm以上 20mm未満
- ケースウエイに取付いているもの
- シーリングハンガー 埋込・露出引掛シーリング 付きのもの
- 配線器具が埋まり込んでいるもの


※配線器具は必ず丈夫な天井面に確実に取り付けてください。

- 器具を分解や改造したり、部品を変更しないでください。

 改造

火災・感電・落下してけがの原因となります。


- 紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置かないでください。

 可燃物

火災の原因となります。


### 注意

- 屋外や湿気の多い場所で使用しないでください。

 湿気禁止

この器具は非防水です。  
火災・感電の原因となります。


- 点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具にさわらないでください。

 接触禁止

高温になっています。  
やけどの原因となります。


- 温度の高い場所では使用しないでください。

暖房器具・ガス器具などの真上や近くでは使用しないでください。火災の原因となります。  
この器具は5～35℃の温度範囲で使用するように設計されています。

 高温禁止

- 交流100V以外の電圧で使用しないでください。定格電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。
- 調光器が取り付けられている配線で使用しないでください。火災の原因となります。
- 天井の材質や構造によっては、天井面が変色する場合があります。

- 照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。  
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による。)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

 異常が生じた場合は、電源を切って、お買いあげの販売店(工事店)、東芝家電修理ご相談センター(保証書に記載)にご相談ください。

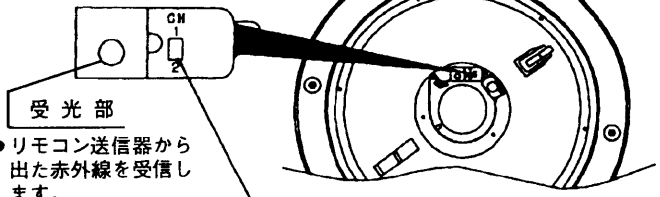
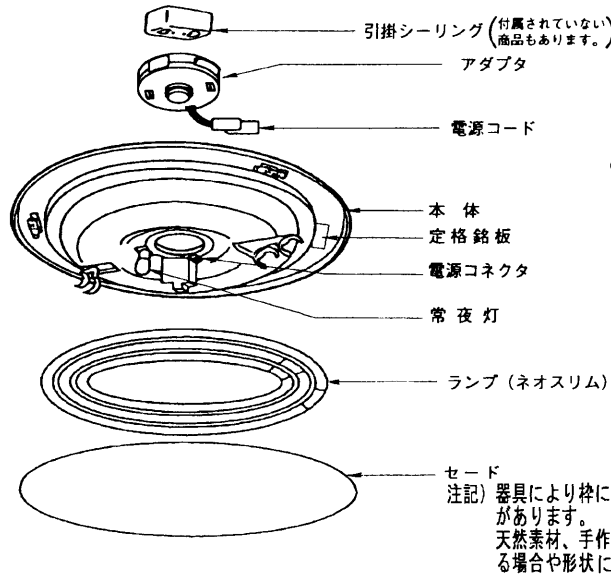
■各部のなまえ

・この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

ネオスリムV

※このチャンネルは、出荷時チャンネル1に設定してあります。

照明器具の切替スイッチ部



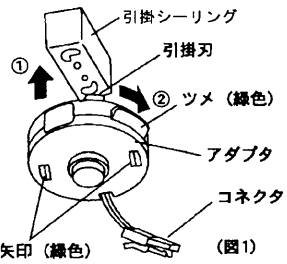
●リモコン送信器から出た赤外線を受信します。  
●当リモコン照明器具は2チャンネル方式です。このチャンネル1、2を送信器と同じチャンネルにしてご使用ください。

**ご注意**  
●万一、動作に異常が生じた場合は電源を一度切って、入れ直してください。  
(壁スイッチを一度切るか、壁スイッチが無い場合は、電源コネクタを一度外し、取り付け直してください。)  
●リモコン  
●インバーター  
(高調波ガイドライン適合品)  
●プルスイッチレス機能搭載  
●虫の入りにくい構造

セード  
注記) 器具により枠に天然素材、手作り品を使用している製品があります。  
天然素材、手作り品のため、カタログと色が多少ことなる場合や形状にバラツキが発生する場合があります。

■器具の取り付けかた (必ず壁スイッチのある部屋でご使用ください。)

1. 天井の引掛シーリングにアダプタを取り付けてください。



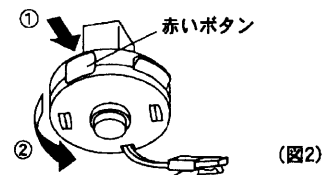
- ①引掛シーリングへ二本の引掛刃を挿入します。
- ②“カチッ”と音がするまで右に回します。(図1)

⚠注意

赤いボタンを押さずに左に回し、外れないことを確認してください。  
アダプタの取り付けが不十分な場合、落下してけがの原因となります。

(図1)

アダプタのはずしかた



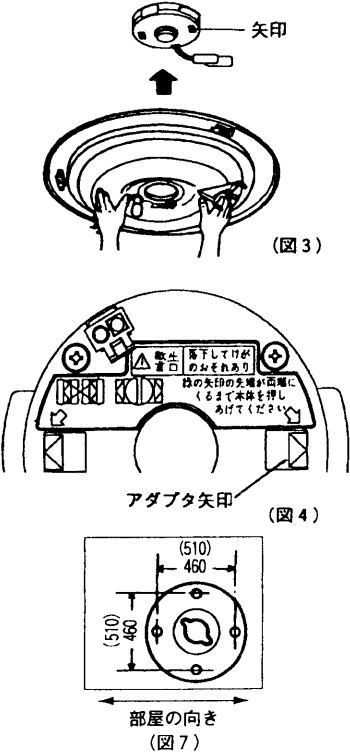
赤いボタンを押したまま左に回してください。(図2)

(図2)

2. 本体を取り付けてください。

⚠警告

取り付けが不完全ですと、落下してけがの原因となります。



注) 器具本体裏のスポンジは、梱包材ではありません。はがさないでください。(天井面に器具を取り付けるための緩衝材です。)

- ①本体の中央寄りを手で支え、アダプタとの位置をあわせて本体をまっすぐに押し上げます。(図3)
- ②本体固定時、アダプタ矢印の先端が両端にくるまで押し上げて下さい。(図4)

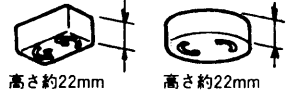
JIS C8310シーリングローゼットに記載の引掛シーリングに適應できます。

埋込引掛シーリングの場合

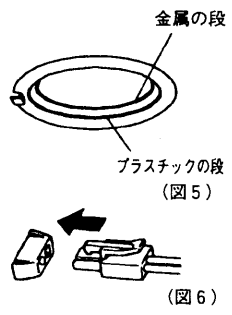


高さ約11mm  
1段階押し上げてアダプタのツメを(図5)の金属の段に取り付けてください。

角形・丸形引掛シーリングの場合

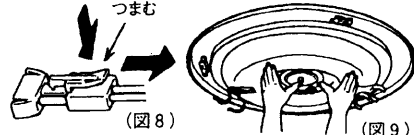


高さ約22mm 高さ約22mm  
2段階押し上げてアダプタのツメを(図5)のプラスチックの段に取り付けてください。



- ③アダプタコードのコネクタを電源コネクタに差し込みます。抜けないことを確認して下さい。(図6)
- ④本体を取り付けた際、図7のノックアウトを部屋の向きに合わせてください。本体を取り付けた後、本体が安定しないときは図7のノックアウトを利用して木ネジで止めてください。

本体のはずしかた

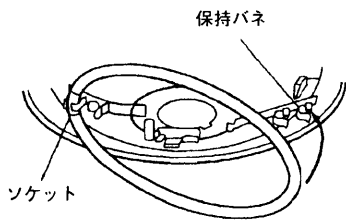


アダプタコードのコネクタを電源コネクタからはずします。コネクタをつまみながら引き抜いてください。(図8)  
両手で本体を押しながら中央にある赤いボタンを押してください。(図9)

※( )内は114W用の場合

### 3 ランプを取り付けてください。

注) 包装時に装着済み



(図10)

(1) 本体に径の大きいランプから順に取り付けます。

(図10)

①ソケット、②保持バネの順でランプを本体に取り付けます。

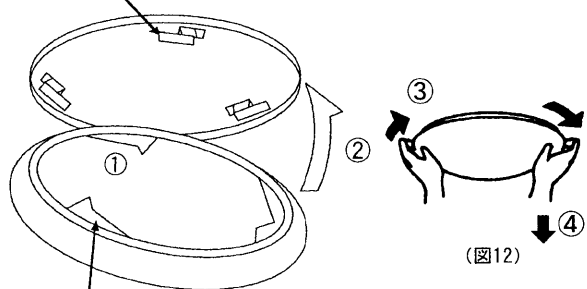
—ランプのはずしかた—  
ランプ径の小さいランプから外してください。

#### ⚠ 注意

ランプをソケットに確実に取り付けてください。  
取り付けが不十分ですと、点灯しなかったり火災の原因となります。

### 4 セードを取り付けてください。

セード取付金具



(図11)

- ①セードの張出部分をセード取付金具とセード取付金具の間にセットしてください。(図11)
- ②セードを持ち上げます。(図11)
- ③“カチッ”と音がするまで、セードを右に回してください。(図12)
- ④セードを軽く引っばって外れないことを確認してください。(図12)

#### ⚠ 警告

セードを本体に確実に取り付けてください。  
全てのセード取付金具にセードが取り付けいたことを確認してください。  
取付が不十分ですと、落下してけがの原因となります。

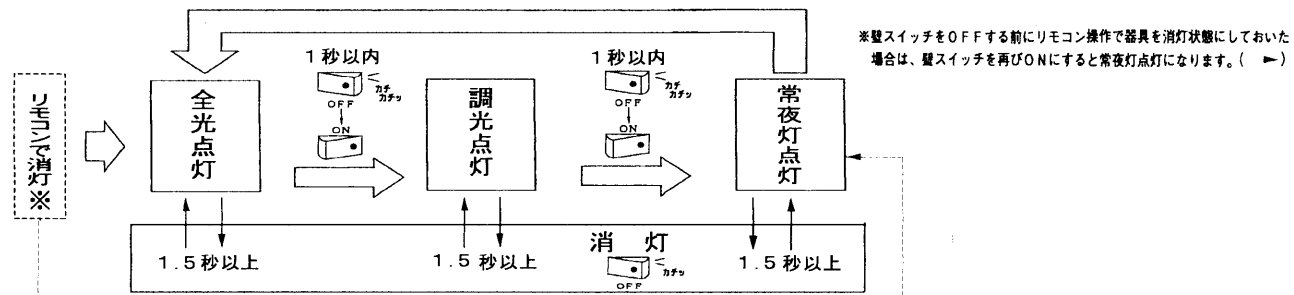
—セードのはずしかた—  
“カチッ”と音がするまで、セードを左に回してください。

## ■器具の使いかた

### 壁スイッチ操作による点灯状態切り替え方法

#### プルスイッチレス

機能・・・この機能は、壁スイッチの操作によって、点灯状態を切り替えることができます。  
器具本体内蔵のマイコンが、1秒以内の電源遮断を感知すると、次の点灯状態へ切り替わる「スイッチング機能」をはたかせます。



(ご注意)

1個の壁スイッチで2台以上の「プルスイッチレス」機能搭載器具を操作することはお避けください。同時に切り替わらない場合があります。

# ON/OFFタイマー付リモコンの使い方

## ■商品の概要 ※弊社指定の照明器具専用です。

◎全光、調光、常夜灯、消灯の切替がリモコン送信器で操作できます。

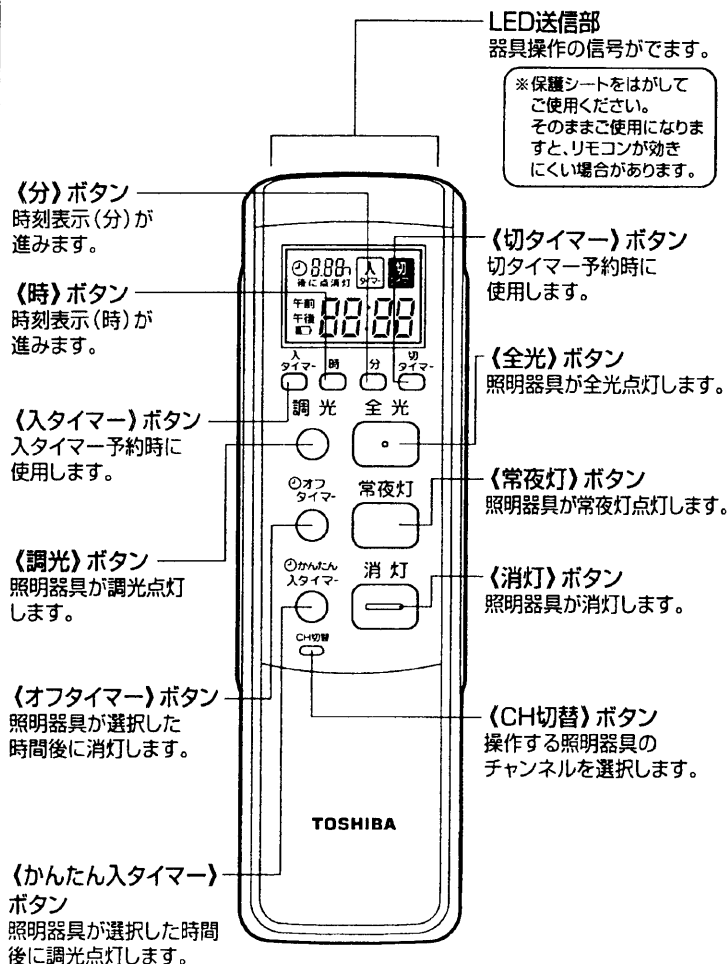
◎タイマー予約で自動点灯、自動消灯が可能です。設定した時刻になると、照明器具に信号を送って、調光状態または消灯状態にできます。

・時計機能付です。(時計の精度は月差30秒以内です。)

◎ワンボタン簡易タイマー付きです。オフタイマー、かんたん入タイマーで選択した時間後に消灯状態または点灯状態にできます。

## ■各部の名前とはたらき

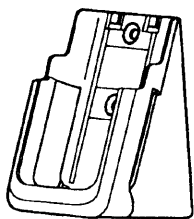
### リモコン送信器 FRC-176



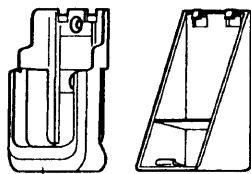
※リモコン本体の前面およびLED送信部には保護シート(透明)が貼ってあります。

## ■リモコン送信器付属品

### 卓上ホルダー(分離型)

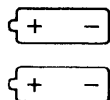


分離して壁ホルダーとしてもご使用いただけます。



壁ホルダー

単4乾電池(2本)



取付用木ねじ(2本)



## ■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

<p><b>注意</b></p> <p>この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合及び物的損害の発生が予想される内容を示します。</p>	<p><b>湿度</b></p> <p>●このリモコンは非防水です。屋外や湿気の多い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p><b>改造</b></p> <p>●リモコンを分解や改造したり、部品を変更しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p><b>高温禁止</b></p> <p>●温度の高い場所では使用しないでください。暖房器具・ガス器具の真上、付近等では使用しないでください。火災の原因となります。</p>

## ■液晶表示パネルについて ※説明のため、全部を表示しております。実際にはこの表示にはなりません。

●かんたんタイマー設定  
オフタイマーまたはかんたん入タイマー設定時に表示します。

●電池残量表示  
電池の残りが少なくなると表示します。マークが表示されたら、電池を2本とも新しいものに交換してください。  
※リモコン機能が正しく動作しません。

後に点消灯  
入タイマー  
切タイマー

午前  
午後

●入タイマー予約表示  
入タイマーを予約した場合には表示します。

●切タイマー予約表示  
切タイマーを予約した場合には表示します。

●時計表示  
現在時刻を表示します。予約内容を確認した場合は、予約時刻を表示します。

## ■リモコン送信器への乾電池の入れ方

①裏面のカバーを軽く押さえながら手前に引いてください。

②単4乾電池を表示にあわせて極性+をまちがえないように入れて、カバーを閉めてください。

**ご 注 意**

- 乾電池交換の際は必ず同時に2本とも交換してください。動作不良の原因となります。
- 長期にわたり、リモコン送信器を使用しない場合は、電池を外しておいてください。液もれなどでリモコン送信器をいためる原因となります。

リモコン送信器の平均電池寿命は1日10回の使用の場合約9ヶ月がめやすです。

## ■時計の合わせ方 注意)時刻設定が正しくされていないと、予約したい時刻に動作しません。

**<電池投入時>**  
※電池投入後60秒間は「午前0:00」が点滅します。

①《時》ボタンで時刻を合わせます。  
《時》ボタンを押すごとに1時間単位で進みます。  
※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。

②《分》ボタンで分を合わせます。  
《分》ボタンを押すごとに1分単位で進みます。  
※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。

③《入タイマー》ボタンを押して決定します。

**<時刻を変更するとき>**  
①《時》+《分》ボタンを同時に3秒間押し  
②「電池投入時」の①～③と同じ手順で時刻を登録します。

午前 0:00

午前 8:30

(入タイマー) ボタンで決定

午前 8:30

点灯

例) 午前8:30に設定する場合  
点滅から点灯になり完了。

## ■照明器具とリモコン送信器のチャンネルの合わせ方

①照明器具のセードを外します。  
例: 1ch設定する場合照明器具のチャンネルを1にします。

②リモコン送信器のチャンネルを1に合わせます。

※ 照明器具のチャンネルとリモコン送信器のチャンネルを同じチャンネルに合わせてください。チャンネルが合っていないと操作できません。

液晶画面に「1ch」が表示

午前 8:30

CHボタンを押すごとに 1ch⇔2chを繰り返します。

※出荷時は1chに設定してあります。

## ■リモコンホルダーのご使用方法

**<卓上ホルダー>**  
卓上にリモコンを置く時に使用します。タイマー設定時には、器具にリモコン正面を向けて、ご使用ください。

卓上ホルダーは分離して、壁ホルダーとしてもご使用いただけます。

①卓上ホルダー下部にあるツメを↓の方向に押しします。

②矢印の方向にスライドさせると分離できます。

**<卓上ホルダーとしてご使用になる場合>**  
(組み立て方)  
壁ホルダーの「引っ掛け部」にホルダー受けの「ツメ」を合わせて→の方向に押しすると卓上ホルダーになります。

壁ホルダー

ホルダー受け

**ご 注 意**

壁掛けホルダーに入れたままで、リモコンがききにくい場合はホルダーから送信器を外して器具に向けてください。壁掛けホルダーに入れたままで、リモコンがききにくい場合は、その場所でのタイマー予約はおやめください。

# ON/OFFタイマーの設定のしかた

## ■入タイマーを予約する

タイマー機能を使って照明器具を「調光点灯」させることができます。

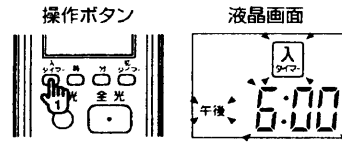
※時計を正しい時刻に設定しておいてください。  
（「時計の合わせ方」参照）

例) 午後7:30に入タイマーを予約する場合。

1. 〈入タイマー〉ボタンを押します。

画面が点滅します。

※工場出荷時は午後6:00に設定してあります。

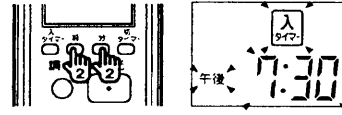


2. 〈時〉、〈分〉ボタンで時刻を決めます。

〈時〉ボタンを押すごとに、1時間単位で進みます。

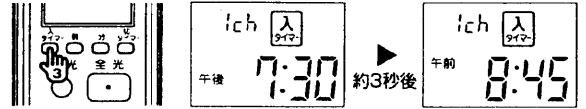
〈分〉ボタンを押すごとに、1分単位で進みます。

※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。



3. 〈入タイマー〉ボタンを押します。

液晶画面が点滅から点灯に変わり「入」が液晶画面に表示され予約完了です。  
（約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。）



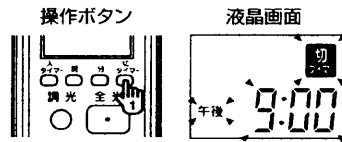
## ■切タイマーを予約する

例) 午後11:30に切タイマーを予約する場合。

1. 〈切タイマー〉ボタンを押します。

画面が点滅します。

※工場出荷時は午後9:00に設定してあります。

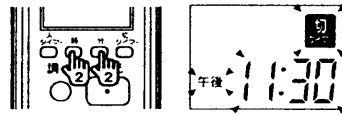


2. 〈時〉、〈分〉ボタンで時刻を決めます。

〈時〉ボタンを押すごとに、1時間単位で進みます。

〈分〉ボタンを押すごとに、1分単位で進みます。

※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。



3. 〈切タイマー〉ボタンを押します。

液晶画面が点滅から点灯に変わり「切」が液晶画面に表示され予約完了です。  
（約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。）



## ■タイマーの予約内容を確認する

例) 「入タイマー」の予約時刻を確認する。

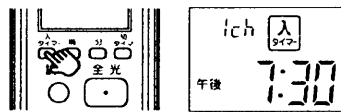
※液晶画面上に「入」表示されている状態で、

- ① 〈入タイマー〉ボタンを1回押します。

現在の予約時刻を表示します。

（約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。）

※切タイマーの予約時刻の確認も「切」表示されている状態で〈切タイマー〉ボタンを1回押します。



## ■タイマー予約を解除する

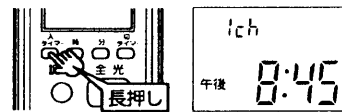
例) 「入タイマー」の予約を解除する場合。

※液晶画面上に「入」表示されている状態で、

- ① 〈入タイマー〉ボタンを3秒間長押しします。

「入」表示が消え現在時刻表示に戻ります。

※切タイマーの予約を解除する場合も「切」表示されている状態で〈切タイマー〉ボタンを長押しします。



## ■タイマー予約中の設定時刻を変更する

例) 「入タイマー」の予約時刻を変更する場合。

※液晶画面上に「入」表示されている状態で、

- ① 〈入タイマー〉ボタンを3秒間長押しします。
- ② 「入タイマーを予約する」1~3の操作をします。

※一度解除しないと予約時刻の変更はできません。  
※切タイマーの予約時刻を変更する場合も、一度予約を解除してください。

# ワンボタン操作でかんたんタイマー設定ができます。

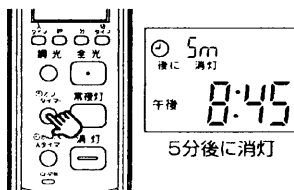
## ■オフタイマーを使用する

ワンボタンで設定した時間後に照明器具が「消灯」します。

- ① 〈オフタイマー〉ボタンを押します。

オフタイマーの時間は5分、10分、15分、30分、60分から選べます。

5→10→15→30→60分後に消灯 →: ボタン操作  
└── ch表示(キャンセル) ─┘



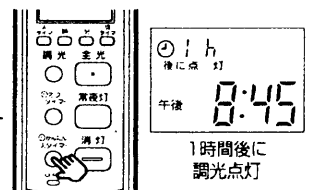
## ■かんたん入タイマーを使用する

ワンボタンで設定した時間後に照明器具が「調光点灯」します。

- ① 〈かんたん入タイマー〉ボタンを押します。

かんたん入タイマーの時間は1、2、3、6、9、12時間から選べます。

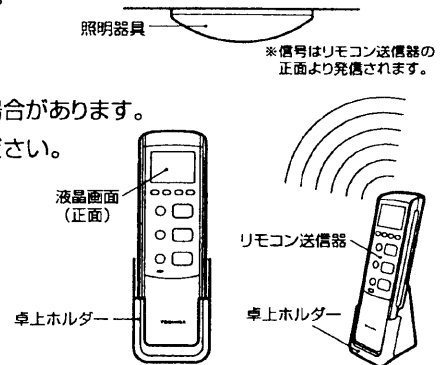
1→2→3→6→9→12時間後に点灯 →: ボタン操作  
└── ch表示(キャンセル) ─┘



※〈オフタイマー〉と〈かんたん入タイマー〉は併用できません。

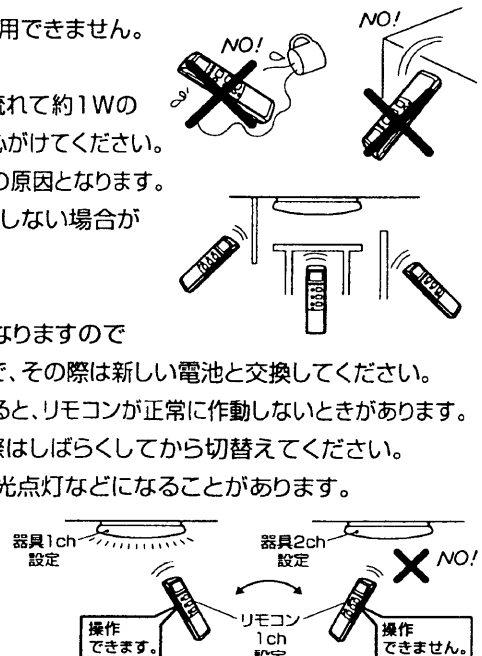
## ■タイマー予約における使用上のご注意

- 壁スイッチは必ずONにしてください。
- リモコン送信器と照明器具の距離が離れすぎるとリモコン信号が届かない場合があります。  
付属の卓上ホルダーにリモコン送信器を置き、照明器具へ向けて必ずリモコン操作ができることを確認してください。
- 卓上ホルダーを本やふとんの上、斜面などの不安定な所に置かないでください。  
※転倒した場合、信号が照明器具に届かなくなる場合があります。
- 器具と送信器の間に、しゃへい物が無いことをご確認ください。
- 天井の高さにより受信範囲が異なります。2.4mを超える天井高さでは効きにくい場合があります。  
これを超える場合は床置きではなく、テーブルなどの家具に置いて使用してください。
- 卓上ホルダーに置いた場合は器具真下から約3mが受信範囲になります。
- 卓上ホルダーにリモコン送信器を正しい向きにセットしてください。(右図参照)
- 卓上ホルダーをご使用にならない場合は、正常に動作しない場合があります。
- 直射日光のあたる所には送信器を置かないでください。
- ストーブや、ファンヒーターの吹き出し口近くには置かないでください。



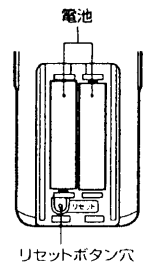
## ■リモコン使用上のご注意

- 付属のリモコン送信器は、当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。
- リモコンは壁スイッチがONのときのみ切り替えできます。
- リモコン送信器で消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れて約1Wの電力を消費します。長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチを切って節電を心がけてください。
- リモコン送信器は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。
- リモコン送信器の周囲に図のようなしゃへい物がある場合は、受信機が動作しない場合がありますので、その際はしゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。
- 天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
- リモコン送信器の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布でふいてください。又、電池が消耗してくると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。
- この照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用すると、リモコンが正常に作動しないときがあります。
- 点灯直後、全光時や調光時、リモコンで切替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切替えてください。
- リモコンで消灯した場合、停電が発生した際プルスイッチレス機能が働き全光点灯などになることがあります。
- 1つのリモコン送信器はチャンネルに合わせた信号しか送信できません。  
2台の照明器具を1つのリモコンで操作する場合は、照明器具のチャンネルとリモコンのチャンネルを合わせて操作してください。



## ■故障かな?と思ったら。

現象	考えられる原因	処置
リモコン送信器で照明器具が操作できない。	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	照明器具とリモコン送信器のチャンネルが合っていない。	チャンネルを合わせてください。
	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
	蛍光灯ランプが切れている。	蛍光灯ランプを交換してください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
	リモコン内のマイコンが暴走している。	電池ふたを開けて、先の細いものでリセットボタンを押してください。(右図参照)
予約時刻になっても動作しない。	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	時刻が合っていない。	時刻を合わせてください。
	照明器具に信号が届いていない。	卓上ホルダーに置いて照明器具が動作する場所に置いてください。



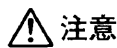
## ■故障ではありません

- 一本でもランプの寿命がくると保護回路がはたらき、次のような現象となり正常点灯しません。電源を切ってすみやかにランプ交換してください。(ランプ交換した後、点灯切り替えを行って再点灯してください。)
  - ・ランプが消灯し、常夜灯が点灯する。
- ※ランプ交換の際には、すべてのランプを同時に交換することをおすすめします。
- 冬場など、周囲温度が低いとき、明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮がおこり、“ピシ・ピシ”、“ポツ・ポツ”という摩擦音を生じることがあります。
- ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。
- 器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されますと雑音が入る場合があります。
  - 雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。
- 調光点灯の状態で壁スイッチをOFFし、再度壁スイッチでONにすると、いったん全光点灯になった後、調光点灯となります。また消灯もしくは常夜灯点灯からリモコン送信器で調光点灯にする場合は、いったん全光点灯になった後、調光点灯になります。
- 器具交換の目安は、使用環境により異なりますが約8～10年です。
- 電源の停電などで明るさが切り替わったり、切り替えができなくなったりする場合があります。その場合は、壁スイッチ等で1度消灯すると正常動作に戻ります。長時間お使いにならない場合は、壁スイッチでの消灯をお願い致します。

## ■お手入れのしかた

・常に明るく安全に正しく使っていただくために、6ヶ月ごとに器具のお掃除をしてください。

- 器具の汚れ(ホコリや虫など)は、やわらかい布を中性洗剤に浸しよくしぼったものでふきとってください。  
(ご注意) ■ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品で器具をふいたり、殺虫剤をかけたたりしないでください。  
変色、変質、破損の原因となります。
- 器具により天然素材の和紙を使用している製品があります。シワ・タルミがある場合はそのままご使用ください。  
和紙がへこんだ場合は、その部分に霧状の水をかけてください。乾燥することによって復元します。



**注意**

- ランプ交換、お手入れの際は必ず電源を切ってください。  
感電の原因となります。

## ■ランプの交換

- ランプの端部が黒ずんだり、暗くなりましたら早めに交換してください。  
ランプ交換の際は、適合ランプ(東芝蛍光ランプ・ネオスリム)をご指定ください。

## ■仕様

器具	定格電源電圧	電源周波数	消費電力(器具)	待機電力	適合ランプ
76W形	A C 100V	50/60Hz共用	69W	約 1 W	FHC20 FHC34 常夜灯 100V5W
86W形	A C 100V	50/60Hz共用	79W	約 1 W	FHC27 FHC34 常夜灯 100V5W
114W形	A C 100V	50/60Hz共用	95W	約 1 W	FHC20 FHC27 FHC34 常夜灯 100V5W

器具形名	
本体形名	

## ■お客様メモ

購入年月日      年      月      日